



2008 今昔館展示模型



2007 西武庫団地リフォーム



2006 N氏の山荘建設



2004 琵琶湖別荘建設



2003 香住古民家移築



2002 大飯古民家移築



2000 朽木研修所離れ

## 美杉山荘 建設プロジェクト

### 伐採・皮むき

敷地は約 2000 m<sup>2</sup>のほんの小さな山林です。平らな部分には桧が、斜面には杉が植わっています。いずれも 40 年生前後の若木ですが、大きなものは直径が 30CM を超えます。桧は前回のN氏の山荘建設時にほとんど伐採して利用しました。今回の美杉山荘では斜面の杉を利用しますが、木材は伐ってもすぐには使えません。伐採・乾燥・玉切り・製材という一連の工程を経て建物に利用できます。夏休み期間の木材加工工程をにらんで、4月の下旬から伐採作業を始めました。



伐採は危険この上ない作業ですので、山の師匠の教えどおり、慎重に一本ずつチェーンソーで伐り倒します。前回の経験もあって、ほぼ狙った方向に倒せますが、根元が千切れないようにチェーンソーを微妙に操る必要があります。

この時期の杉は根から盛んに水を吸い上げており、皮が簡単にめくれます。杉の皮は屋根や壁の下地材料として利用できますので、倒した杉の皮を専用のカマで1mずつ切り目を入れて、手製の竹べらで皮を剥いていきます。

山の師匠の話では、「この時期の皮は虫が入りやすく売り物にはならん」とのことですが…。



剥いた皮の下からヌルヌルした木肌が現れ、水分が滴り落ちます。まさに木材が細胞を増殖させて成長している部分です。“水のなかで命が生まれる”ことを実感させてくれます。



竹べらは、各自の手製です。ナタを持つ手がいささか危うい。



剥いだ皮は、重しを載せて平